

## 2-1 国づくりへの歩み 米づくりが始まる

P80～P81

6年 組 番

名前

①【ねらい】米づくりが始まって、人々の暮らしがどのように変わったか考える。

②【基本】教科書の図⑦を見て考えよう。

・何年前のどこの想像図だろうか。

・人々は何をしているのだろうか。

1800年前の登呂（静岡県）

米作り

③【ポイント】人々がしていることをくわしく読み取ろう。

（例）「種をまいている人がいる」「木の柵（さく）を作っている人がいる」

- ・多くの人と一緒に米作りをしている。協力していることがわかる。
- ・くわやすきといった道具を使っている。
- ・げたのようなもので田を耕している。そのまま種をまいて、今の米作りと違う。
- ・田植えを教えている人がいる。地位の高い人かもしれない。
- ・家の周りでは道具を作っている人がいる。助け合っている。
- ・縄文時代とは生活の様子が違っている。
- ・家も縄文時代とは違って、じょうぶそうだ。
- ・倉庫のようなものも見える。米を保存したのではないか。

❶ ④米づくりが始まってから人々の暮らしはどのように変わってきたといえるだろうか。  
教科書の他の資料からも考えよう。

- ・人々が集まって住み、協力して作業をするようになった。
- ・米作りのための道具や弥生土器も作られるようになった。
- ・食料の保存ができるようになり、食生活や縄文時代より豊かになった。

⑤ノートにまとめよう。（以下の書き出しでまとめよう。）

- ・米づくりが始まると、人々は… 集まって住み、協力して作業をするようになった。  
さまざまな道具も作られ、米の保存もできるようになった。
- ・思ったことは…